

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 10月15日（日）

今月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。万引き、自転車盗など子どもの非行や犯罪を防ぐために、親子の会話を増やし、子どもの規範意識を高めましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp

相談員がメールでお答えします。

(秘密厳守)

体験学習の大切さ

更埴地区少年補導委員

少年補導委員になって毎日見る新聞も、子どもの記事に関心が向いてきました。最近では生徒の自殺の記事が多くなっています。原因は、親も先生方も気が付かない、ネット上でのいじめがほとんどのようです。いじめられている生徒の苦しみや悩みは、尊い命をも超えてしまっています。しかしそれにも関わらず、いじめはなかなか解決できていないのが現実です。そんな中、学校側でも打開策として、道徳教育に力を入れ始めてきているようです。

でもここで私は、昨年亡くなった女性登山家田部井淳子さんの話をしたいと思います。エベレスト初登頂など華々しい活躍の一方で、自分の子どもが不登校（家こもり）になってしまい一時悩んだ時期があったそうです。そこで彼女は子どもと一緒に登山をしました。大自然の中で、自分の足と手で登頂する厳しさと喜びを感じたのでしよう、その後再び元気に学校へ通い無事卒業したとのことでした。

この話の中にヒントがありそうです。ネットやゲームにはまっている子ども達を一時そこから離れさせ、現実の世界を学習させる。つまり、体験学習を数多く行うことだと思います。農家、工場、官公庁、高校、大学等で、とにかく大人が一生懸命働いている姿、また先輩たちが真剣に勉強している姿を見たり体験したりすることは、生きた学習になると思います。

私たち補導委員もパトロール中に出逢った子どもたちに「こんにちは！」と大きな声を掛けます。きっと声を掛けられた子どもは、両親や先生以外の大人と会話ができた、一つの大きな自信につながると思います。私たちは、いじめなどには負けない強い精神力を持った人間へと成長してもらいたいと願っています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— うれしいな家族そろった読書の時間 —

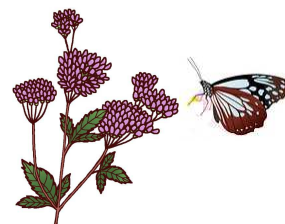
～9月の補導委員会議より～

9月1日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より
 - ・日が短くなってくる。痴漢被害は今後もありうる。青色パトロール車で巡回していただいているが、引き続きご協力を。
2. 「青少年の非行・被害防止強調月間」実施結果の報告
3. 7月末現在の声かけ認知状況について
4. 7、8月の補導日誌からの報告
5. 9～12月の補導計画について 9月・10月は午後4時から巡回、11月からは午後3時からの巡回。11月は環境チェック活動2回、12月は定例の巡回に含めお祭り(大頭祭)特別巡回を実施。



補導日誌から



工夫された祭り（千曲夏祭り）

8月11日（金） 6:30pm～8:30

天気予報では夕刻より大雨。又、県北部に大雨注意報が出ている中、皆様の精進のたまものか千曲夏祭りは予定通りに実施できました。今年は若い親子連れも多く、地元商店街の方々が工夫をこらした様々なコーナーで楽しむ光景がとても印象的でした。昨年中学生が子どもだけで花火遊びをしていた場所も回ってみました。今年はそこには子どもの姿もなく、これといった問題もありませんでした。穏やかな祭でした。

思い出をつくる（屋代ヨイヨイ）

8月12日（土） 7:00pm～9:00

夜6時半からの歩行者天国で、須々岐水神社宮前通りは大勢の人達で混雑していました。女の子は浴衣など着ていてとても華やかでした。森から来ていた中学生達が、屋代の同級生に誘われたと喜んでいました。帰りの自転車、早目に気を付けて帰るように声をかけました。どの子ども達にも、今日の祭りは小さい時の良い思い出になると思います。祭りは続いて行って欲しいと思いました。

みんなそろってスタートができて

8月23日（水） 5:00pm～7:00

黒彦中央公園では、小5の男子4人と、小2、保育園児各1人ずつの男の子がケイドロに夢中になっていました。最近ではめずらしく歳の違う子ども同士が遊ぶ姿を見て、いいなあ…と感じました。更級小学校の教頭先生が、今日から2学期が始まり全児童が出席してくれたことをとても喜んでおられました。

声をかけたくなる素敵な高校生

8月23日（水） 5:00pm～7:00

屋代高校前駅を巡回しました。駅員の方と駐輪場管理人さんに何ったところ、今は何も問題はないとのことでした。そこで帰宅途中の高校生から、先に挨拶されました。その挨拶が自然で心地良かったです。「気を付けて帰って」と声がけをしました。

子どもがいればこそ

8月24日（木） 5:00pm～7:00

午後5時、戸倉庁舎を出発。信州観光ホテル跡、上山田中央公園、南部公園と巡回しましたが、子どもの姿はありませんでした。住吉公園横の上山田児童館に立ち寄って、初めて子ども達の元気な姿に出

会いました。一輪車の練習を、小学2年生から4年生の男女が楽しそうにやっていました。三本木公園では、10名位の小学生が水鉄砲で遊んでいました。

きれいな場所にはわけがある

9月 4日(月) 4:00pm~6:00

屋代駅・東山公園・千曲駅と巡回しましたが、小学生とは会えませんでした。内川公園まで来ると、小学生が4人ゲームをしていました。広々とした静かな公園です。小船山公園でも、ゲーム中の小学生が5人いました。孫を連れておじいちゃんから、ここは週1回の掃除を地区全体で当番制で行っているというお話をお聞きしました。きれいなわけです。やはり、地域の協力の大切さを感じました。更埴中央公園ではグラウンドでサッカー教室が行われており、小学生5人ほどが練習していました。五十里公園・杭瀬下公園と巡回し更埴庁舎へ戻りました。本日も問題なくパトロールできました。

ちょっとでも遊びたい

9月 6日(水) 4:00pm~6:00

三本木公園はめずらしく誰もいませんでした。この地区では、郊外にいる小学生に帰宅時刻を知らせる「愛の鐘」が夕方に鳴ります。その数分前に小学生の女の子3人が遊びに来ました。「愛の鐘まで5分しかないぞ。」と声をかけると、「鳴るまで遊ぶ…」と元気に走り出しました。

屈託ない高校生

9月 7日(木) 4:00pm~6:00

午後4時頃、駅構内には列車待ちの女子高校生が20人ほどいました。お菓子を食べながらおしゃべりをしたり、スマホをしたり…、さまざまな姿を見せていましたが、構内は整然とした雰囲気でした。駅前の出張販売車では3人がパンを買い、早速食べていました。「おいしいかい」と声をかけると、無邪気にとっても美味しいですと答えてくれました。素直な女子高校生だなと感じました。

後ろが見える子ども達

9月 8日(金) 4:00pm~6:00

北堀公園では4人の男の子がサッカーをしており、挨拶をすると挨拶が返ってきました。自転車で2人の男の子がやって来ました。通行の支障にならない所に自転車を止めて遊びに入りました。暗くなる前に帰るよう声をかけると、大きな声で「はい」の返事がありました。とても素直な子ども達でした。

編集室の窓

おもいやりの芽が膨らむとき

シジミチョウ(ヤマトシジミ)が水路に落ちていました。丁度そこには沢がにを捕っている1年生の子どもが2人いました。1人の子がチョウを拾い上げました。どうも、体に水がついてしまい飛べないようです。息を吹きかけたり、手であおいでみたり…何とか乾かそうとします。飛ぶかなあ…、飛ばないねえ…。また、同じように乾かそうと繰り返します。チョウも飛ぼうとして動き回り、放っておけばまた水路に落ちてしまいそうです。そっと、両手で包むようにして元へ戻す子ども…。きりがないので、別の安全な場所に置いてあげました。安心したのか、子ども達は又、沢がに捕りに向かいました。しばらくしてチョウの様子が気になったので、置いた場所に行ってみるともういませんでした。「いなくなっちゃったよ…」、そう伝えると2人そろって「よかったね」の声が返ってきました。

この子たちは、小さな沢がにであっても逃がさずに捕っていました。でも、足が1本とれている沢がには、「逃がして…」と言います。そして、水に落ちて飛べない小さなチョウは、「かわいそうだから…」、と助けます。命あるものに関わりながら、少しずつ思いやりの心も膨らませている子どもがいました。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているか「3年生のゆめ」を紹介します。

ぼくのしょう来のゆめは、プロ野球せん手になることです。そのために、少年野球チームに入って体をきたえています。少年野球のかんとくやコーチの言うことをよく聞いて、球から目をはなさないように集中してやるように、がんばっています。ナイターや練習は休まずがんばったり、家でキャッチボールをおじいさんやおばあさん、高校生のお兄ちゃんや中学生のお兄ちゃんに教わりながらやったり、プロ野球のナイターの試合などをよく見たりして、いろいろなルールをおぼえたいと思います。がんばることは、自分で努力することです。

鈴木 龍斗

ぼくのゆめは、料理人です。ぼくはママの料理の手伝いをしていて、料理をおいしく作れるようになりたいと思ったからです。料理には和食、洋食、中かなど、たくさんのおいしい料理があって、すごいと思います。だから勉強をしておいしい料理を作りたいです。そして、おいしいってみんなによろこんでもらえるような料理人に、ぼくはなりたいです。

福田 陸

私が大きくなったらなりたいものは、保育園の先生です。どうしてかというと、先生がピアノや遊びが上手だったので、私は保育園の先生になって、子どもたちといっしょに遊んだり、生き物をかったりしたいから、大人になったら保育園の先生になりたいなと思いました。

飯島 彩寧

ぼくは、電車の運転手になるのがゆめです。5才の時から電車の運転手になるのがゆめで、電車を見て動かしたいなあと考えたのがきっかけです。遠いところでも、自分で行きたいと思うところに行くことができるのは楽しいことです。多くの人々を運んでくれるからです。学校を出て運転手の勉強をして、安全に人々を行きたいところへ連れていくことができるように、がんばりたいです。そのためには、どうすれば良いか調べていきたいです。そのためにも、毎日の学校での勉強をしっかりやらないといけないと思います。

近藤 和生

ぼくのゆめは大工さんになることです。なぜなら、大工さんがたて物をたてている所を見ると、ぼくも高いところで仕事してみたいと思うからです。さらに大工さんになるには、図工をがんばらなきゃいけません。そのためにはこれから、図工をがんばって、いい大工さんを未来的に目指したいです。

倉島 旬

ぼくはサッカーせん手になりたいです。何でかというと、ぼくがキーパーでみんなのラフシュートを止めることができるのが、とても気持ちいいからです。毎日、学校でみんなとサッカーの練習をしています。まもる練習と、ボールをうばう練習と、ボールをける練習を、だれよりもうまくなれるようにがんばっています。これからも毎日練習をかかさずに、サッカー選手になれるようにがんばります。

松本 紘幸